



1 教科について

国 語

昨年度の課題

文章の内容や構成，展開に即して，説明的文章を読み取る力を身につけさせる。

漢字の行書の基礎的な書き方を身につけさせる。

昨年度の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

論理の展開に即して内容を正確にとらえることができるよう取り組んだ。

漢字の行書の基礎的な書き方をワークシート等で理解させた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	76.2	%
市平均	74.1	%
学校平均	81.0	%

領域ごとの平均通過率（%）

	聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
学校	69.0	78.0	80.4	85.5
市	68.6	63.8	73.6	80.2
県	71.8	70.3	74.4	81.1

重点課題

・・・全体と部分，事実と意見との関係に注意して，聞き取る力を身につけさせる。

・・・文章の構成，展開に即して，内容を正確に読み取る力を身につけさせる。

・・・学年別漢字配当表に示す漢字を確実に書くことができるようにさせる。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

普段の授業から，教師の説明や他の人の意見を，全体と部分，事実と意見の関係に注意して聞くようにさせるとともに，授業の中に聞き取り問題を取り入れていく。

さまざまな文章を読む機会を増やし，語彙力を高めるとともに，論理の展開に即して内容を正確に読み取る力をつけ，思考力・判断力を養う。さらに，読解力を表現力に転化させることができるよう，意図的に文章表現活動を行わせる。

週3ページの漢字帳提出，漢字テストの間違い直し（5回ずつ）を確実に行わせる。

数 学

昨年度の課題

〔数と式〕の領域で、文章を読み取り式を作る。また、文字式を使って未知の数量を求める。

〔図形〕の領域で、空間における平面と直線、直線と直線の位置関係を理解する。また、対称な図形を作図する。

昨年度の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

第1学年で扱う「文字式」、「1次方程式」では、じっくりと考える時間を確保し、自分の考えを図やことばを用いてまとめさせた後で、式で表すよう段階的に指導を行った。

第1学年で扱う「空間図形」では、導入で立体模型を作らせたり、説明の際には鉛筆(直線)と下敷き(平面)を使うなど具体物に数多く触れさせ、イメージを持たせながら指導を行った。また、作図においては、形式的にならないよう、対称な図形の性質を繰り返し確認し、指導を行った。

「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	65.7	%
市平均	64.4	%
学校平均	77.1	%

領域ごとの平均通過率(%)

	数と式	図形	数量関係
学校	77.1	76.5	66.8
市	70.8	59.5	53.3
県	71.9	60.7	55.2

重点課題

〔数と式〕、〔数量関係〕の領域で、昨年に引き続き、文章を読み取り数量の関係を式で表すこと。

〔図形〕の領域で、扇形の面積を求める際、円周率をかけ忘れていること。また、円錐の体積を求める際、 $\frac{1}{3}$ をかけ忘れていたり、 $\frac{1}{2}$ をかけていること。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

引き続き、文章題に取り組む際には、式で表す前に、図で表したり、ことばの式で表したり、文字の代わりに具体的な数値で考えさせるなど、段階的な指導を行っていきたい。また、考える手順を分かりやすく簡潔にまとめ、数多くの例題で練習していきたい。

〔図形〕の領域では、第2学年で「円」を学習する際に、復習問題を多く取り扱いたい。ここで円周率の意味を再度理解させ、円周率のかけ忘れなどの誤答を減らしていきたい。また、第3学年「三平方の定理」で、三平方の定理を用いて、円錐の高さ、直方体の対角線などの図形の計量を学習する際にも、再度、円錐の求積の問題を復習したい。

英語

昨年度の課題

数字の聞き取りと、発音に関わる設問の正答率が低い。

習った文法事項を用い、場面に応じた適切な文を書く問題での誤答が多い。

昨年度の課題から取組みの具体

毎時間の授業で指示や質問を工夫し、英語の数を聞いたり、発音したりする機会を増やしていく。

日々の活動や課題で、英語を書く機会を増やし、場面に応じて英語を表現できる工夫をする。

「基礎・基本」定着状況調査通過率

県平均	71.1	%
市平均	68.9	%
学校平均	80.9	%

領域ごとの平均通過率(%)

	話す こと	聞く こと	読む こと	書く こと
学校	80.3	86.4	82.0	71.3
市	73.8	77.7	72.8	49.0
県	72.0	79.7	71.3	53.8

重点課題

・・・場面に応じて、適切な表現を用いて簡単な文を書く力をつける。

・・・文章、会話の流れから、その内容を的確に読み取る力をつける。

・・・質問に対し、正しく答えることのできる力をつける。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

昨年度に引き続き、日々の活動や課題の中で英語を書く機会を増やす。また単元ごとに単語や構文の定着をはかる小テストを行う。

文章の流れを意識させるため、つながりのある英文を提示することを心掛ける。

教科書内容について英語で質問したり、内容をたずねる機会を増やしたり、本読みを徹底させることにより、正しい答え方を習得させる。

2 意識調査

(1) 生活・学習 (「基礎・基本」: 学校質問紙 P 1 ~ 2 , 生徒質問紙 P 1 ~ 3)

改善したい点	今後の具体的な取組の内容
ほとんどの項目で県平均を上回っているが、「学校の授業の復習をしている。」と答えた生徒が 51.7%というのは、中学 2 年生としては少ないように思う。毎日の復習が確実にこなされるようになって欲しいものである。	アンケートの結果で「自分で勉強の計画を立てている。」と答えた生徒が半数に満たない。日々の授業の復習と予習をする習慣を身につけさせ、今、何が課題なのか、何を克服しなければならないのかなど、自分自身と向き合い、自らの学習計画を立てられようになって欲しい。このことが今後の受験勉強等につながればと思う。

(2) 教科 (「基礎・基本」: 学校質問紙 P 3 ~ 10 , 生徒質問紙 P 4 ~ 6)

教科	生徒の回答と学校の指導についての課題	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> 「国語の学習が好きです。」と答えている生徒が 62.9%である。また、80.8%の生徒は「よくわかる」と答えている。しかし、「授業を楽しみにしている」という生徒は 55.4%しかない。 家庭学習に漢字学習を取り入れているが、漢字学習が好きではないと感じている生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味関心を持ち、意欲を持って学習に臨めるよう、意識して生徒の活動の場を増やす授業を目指していきたい。 漢字学習が励みになるよう工夫していく。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 「数学の授業がよく分かります」と答えた生徒が 66.3%であるのに対し、「数学の授業を楽しみにしています」と答えた生徒は 37.9%だった。 「授業では、理由をあげて自分の考え方や解き方を説明しています」と答えた生徒は 46.7%だった。 	<ul style="list-style-type: none"> より授業に関心が持てるように、説明ばかりにならず、教材を工夫したり隣同士で考えたりする活動をしていきたい。 発表をさせる際には、根拠も答えさせる活動をより多く取り入れていく。また、周りとの教えあいの活動を多くして、人に説明する機会を積極的に作っていきたい。
英語	<ul style="list-style-type: none"> 英語の勉強が好きな生徒が 62.5%いるのに対し、授業を楽しみにしている生徒が 59.2%、授業中自分の気持ちを英語で話して伝えることをしている生徒が 36.3%となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中に英問英答やインタビュー活動、ALTとの活動をできるだけ設け、自信を持って英語を話すことができるよう取り組む。 自分の考えや気持ちを表現するには高い英語力が必要となる。その基となる基礎的な力をつけていく授業を目指したい。

指導改善のための実施スケジュール

～9月		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
Plan		Do			Check		Action	Check
結果の分析・H19の改善計画の見直し			H20の改善計画の実施		検証		次年度の計画	
【教科】 国語	・全体と部分,事実と意見との関係に注意して聞くよう指導する。	・文章の展開を確かめながら要旨をとらえる指導を行う。	・伝えたい事実や事柄,課題及び自分の考えを明確にして書く指導を行う。	行書の基礎的な書き方を確認する。	・後期定期テストで定着状況を検証する。	・指導改善内容の検証を行い,次年度の計画を立てる。	・次年度の計画を立てる。	・計画を再検証し,実施する。
数学	・演習を繰り返すを行い,1次関数の基礎基本を定着させる。	・1次関数の特徴を総合的にとらえ,考察させる。	・演習を繰り返すを行い,図形の基礎基本を定着させる。	・証明問題を通して論理的思考力をつける。	・後期定期テストで定着状況を検証する。	・指導改善内容の検証を行い,次年度の計画を立てる。	・次年度の計画を立てる。	・計画を再検証し,実施する。
英語	・英問英答や,インタビュー活動を充実させ,習慣化を図る。	・単語や,構文を繰り返し書く課題を与え,家庭学習に位置づける。	・授業の中で本文の内容に関する英問英答を行う。	・単元ごとに単語や構文の定着を図る小テストを行う。	・後期定期テストで定着状況を検証する。	・指導改善内容の検証を行い,次年度の計画を立てる。	・次年度の計画を立てる。	・計画を再検証し,実施する。
【生活・学習】	家庭での生活習慣,特にテレビやDVD視聴時間について,問題提起を行い,家庭でも話す機会をつくって頂く。	学活などを利用して,生徒に生活習慣の改善計画を立てさせる。	・後期第1回テストの学習計画作成,実施について重点的に指導を行う。 ・職場体験を通して,将来の自分をイメージし,目標がたたえられるように指導する。	・教育相談において家庭での生活習慣の改善について個別に確認,指導を行う。	・後期第2回テストの学習計画作成,実施について重点的に指導を行う。	保護者懇談会にて,家庭での生活習慣の改善について,保護者とともにその後の状況を確認し,残された課題の解決を図る。	3年生に向け,最高学年としての自覚と,進路実現に向けた目標を立てる。	計画を再検証し,実施する。